

私たちは日加間の貿易や投資関係に携わる人々を代表し、カナダと日本の交易や商業の発展を促進させることを主要目的としています。

国際商業関係において非常に大切なのは相互的に理解することであり、互いに尊重しあい、支持することです。これを原点とした様々な国際的理解は多くの場合、文化的体験や交流で共有されます。桂三輝さんはこの様な交流を非常に深く担っている数少ない要人の一人です。

「サンシャイン」として知られている彼はトロント出身で、トロント大学の古典学の学位を持っています。彼は卒業後に脚本家として活動し、ギリシャ系喜劇俳優であるアリストファネスのクラウド（雲）の別バージョンを作り出し、15か月トロントの劇場で話題となりました。（もちろんそれ以外のたくさんの分野で活動もされています。）カナダでの全国ツアーを経て、2008年に来日され、日本の伝統である落語に魅惑されました。落語の達人である六代桂文枝の15番目の弟子となり、桂三輝という芸名になりました。2012年11月に厳しい見習い期間を終えました。

三輝さんはユーモアが文化の違いを超えられるということを証明しています。というのも、日本語と英語を混ぜて人々を笑わせます、彼の今年のCCCJメープルリーフGalaでは日本とカナダ両国の観客が大喜びでした。本人もおっしゃっていますが、彼は本当にカナダ出身でありながら、日本での養子でもあります。

8月7日に行われるカナダ大使館の記者会見で三輝の北アメリカツアーが公表されました。外務省や国際交流基金の強力な支援により、8月29日から10月5日の期間に、20のアメリカやカナダの都市で30回以上出演する予定です。また、このツアーは最後にトロントの有名なエルギン&ウィンターガーデン劇場でフィナーレを迎えます。

さらにCCCJは桂三輝さんを我々の文化大使として任命しました。カナダで日本についての関心は長い間ありますが、正直なところ控えめであります。私たちは、両文化の体験豊かな三輝さんがその関心を助長するのに最も適している人だと考えています。彼こそ相互的な尊重や理解を深められるでしょう。

在日カナダ商工会議所
会長 ウィルフ・ウェイクリー

在日カナダ商工会議所（CCCJ）について

在日カナダ商工会議所は、350名以上の会員（政府・法人・団体・個人）を擁す、日加間の商工活動と経済交流推進を目的とする非営利の民間会員組織です。東京および大阪を拠点に35年以上にわたって在日カナダ実業界を支援し、日加間における通商の発展に努めてきました。経済会議、大使朝食会、高円宮妃殿下をお迎えしてのメイプルリーフGala、起業家セミナー、他の在日外国商工会議所とのネットワークイベントなど様々な活動を通して、両国におけるビジネスコミュニティを構築し、日加ビジネスや交流に貢献しています。

詳しくはwww.cccj.or.jpをご覧ください。